

特別公開企画展

「東京の大自然と生命科学研究」のお知らせ

本学の学術成果を都民に発信する拠点作りへ向けた取り組み

10月24日（水）～11月6日（火） 11時～17時

首都大学東京 南大沢キャンパス 91年館

～10月27日（土）には記念講演会も開催！～

首都大学東京人文科学研究科の山田昌久教授ら研究グループは、本学南大沢キャンパス91年館に新しく設置された学芸員養成課程展示室を活用した特別公開企画展を開催するとともに、記念講演会を実施いたします。

今回は研究グループ所属の理工学研究科生命科学専攻の教員を中心に、東京の海、島、山に生息する動植物について生態学、行動学、神経科学、進化学、系統分類学などの生命科学に関する研究成果を紹介いたします。特別公開企画展の開催は平成24年10月24日（水）～11月6日（火）、記念講演会は10月27日（土）14時から予定しております。

本学は、小笠原に研究施設をもつ唯一の大学として、都立大時代を含め40年近い小笠原研究の実績を持ちます。小笠原研究の成果としては、アリやハチ類、ミノガイ類などの新種の生物の発見を始め、小笠原における絶滅危惧種ムニンノボタンやハハジマノボタンといった植物の再生、アカギやグリーンアノールなどの外来種対策、エコツーリズム振興などの施策にあたりシンクタンク機能を果たしています。また、その他にも多摩地域での哺乳類分布の変遷に関する生態学的研究や伊豆諸島海域での海産動物を用いた神経科学研究などを行っています。

今回この企画展が、その研究成果を地域の皆様に身近に発信していく最初の機会となり、今後も継続的に本学の研究成果を都民の皆様に気軽に知っていただけるような活動をしてまいります。

山田教授らは本学に蓄積された学術成果を都民に発信する拠点の形成を目指して準備を進めており、本学研究費を競争的に配分する「傾斜的研究費」を獲得。今回の企画展・講演会の開催となりました。



(写真：ハハジマノボタン)

<お問い合わせ先>

首都大学東京理工学研究科

電話：042-677-2578

特別公開企画展「東京の大自然と生命科学研究」

- ◆ 会 期：平成24年10月24日（水）～11月6日（火） ※会期中無休
- ◆ 時 間：11時～17時
- ◆ 会 場：首都大学東京 南大沢キャンパス 91年館 『学芸員養成課程展示室』
京王相模原線「南大沢駅」下車 徒歩約10分
- ◆ 展示ブースのテーマと担当責任教員（専門分野）
 - 「小笠原の植物」 菅原 敬（植物系統分類学）
 - 「東京の海の動物たち」 黒川 信（動物生理学）
 - 「多摩のけものたち」 林 文男（動物生態学）
 - 「多摩の昆虫たち」 清水 晃（動物系統分類学）
- ◆ 参加費：無料（どなたでも参加できます。）

記念講演会

- ◆ 日 時：平成24年10月27日（土）14時～
- ◆ 会 場：首都大学東京 南大沢キャンパス 91年館 『多目的ホール』
京王相模原線「南大沢駅」下車 徒歩約10分
- ◆ プログラムおよび講演者（専門分野）
 - 「はじめに 東京の大自然と生命科学研究」 可知 直毅（植物生態学）
 - 「多摩のけものたち」 林 文男（動物生態学）
 - 「東京の海の動物たち」 黒川 信（動物生理学）
 - 「小笠原の植物」 菅原 敬（動物系統分類学）
 - パネルディスカッション（総合討論）
- ◆ 参加費：無料（どなたでも参加できます。）
- ◆ 定 員：100名（申込不要）

【研究代表者および本企画展参加メンバー】

- | | | |
|---|---------------------------------------|----------------|
| 1 | 山田 昌久（教授 所属：人文科学研究科 文化基礎論専攻 歴史・考古学教室） | 研究代表者 |
| 2 | 黒川 信（准教授 所属：理工学研究科 生命科学専攻 神経生物学） | 本企画展責任者 |
| 3 | 可知 直毅（教授 所属：理工学研究科 生命科学専攻 植物生態学） | |
| 4 | 清水 晃（助教 所属：理工学研究科 生命科学専攻 動物系統分類学） | |
| 5 | 菅原 敬（准教授 所属：理工学研究科 生命科学専攻 植物系統分類学） | |
| 6 | 林 文男（准教授 所属：理工学研究科 生命科学専攻 動物生態学） | |